7月8月　くれよん　もり組

6月には例年より早めにプール開きを行い、水遊びやプール遊びを楽しむことができました。毎年異常と言われる猛暑の中でも、暑さに配慮しながら子どもたちが安全に楽しく遊べる環境作りを整えていきたいと思っています。
お子さんの健康面など、気になることがありましたらいつでもお気軽にお声掛けください。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿「自立心」について

子どもにとっての自立心とは、自信を持って主体的に行動する力のことを示します。
例えば、遊びの中で自分で遊びたいものを見つけて遊ぶことや、自分で自分の着たい
洋服を選んだりと自分で選択をして自分で決定することだったり、少し難しいことに
挑戦してみて、できた時の満足感を味わうことも自立心へと繋がります。
考えたり工夫したりして諦めずにやりとげるなど、体験の積み重ねによって達成感や自信を得られることでだんだんと子どもの中に自立心が育っていきます。

保育園では、様々な場面で自分で考えて、自分で決める、ということを意識してサポートしています。例えば友だち同士のトラブルも、すぐに大人が介入するのではなくできるだけ自分達で解決できるように見守っています。着替えや身支度なども、
できるだけ自分で、その子に合わせて必要な援助をするという形で「自分でできた！」
という喜びや達成感を感じられるようにして日々を過ごしています。
お家でも、朝夕の保育園での支度(コップを置く、リュックをしまうなど）をお子さんに
任せるなどすることで、小さな積み重ねが後に「自分のことは自分でする」という意識に繋がっていくと思います。保育園とお家とで協力しながら、子どもたちの「自立心」を育てていけると良いですね☆

がらがらうがいにチャレンジ！

お集まりの時間に【ブクブクうがい】と【ガラガラうがい】の違いをお話をしました。ブクブクうがいではお口の中・歯についた汚れなどを洗い流してくれるうがいである事、ガラガラうがいとはお口の奥に潜んでいるばい菌を洗い流してくれるうがいである事を伝えています。場面によってブクブク・ガラガラを意識して取り入れている子ども達♫
まだ上を向いてガラガラする事が難しい子や、水がお口からあふれ出てしまう子もいますが、【やってみよう】という気持ちをまずは褒めてあげる事が一番大事です！なので何度失敗してもくじけず、繰り返しやってみようという気持ちになっている子どもたちの姿が見られます♪

お友達との関わり合いについて

もり組さん、困った事があった時、お友達と喧嘩してしまった時に
大人に「〇してきた」「〇されてやだった」と大人に伝えることが出来ています。
大人に伝える事ができたら次は大人に伝える前にお友達に同じように「〇してきてやだったよ」「〇なきもちになったよ」と伝えられるように大人は促しています。
大人からお友だちに伝えてもらうのではなく、大人に伝えることが出来ているならお友達にも同じ言葉で伝えられるようになっている証拠です！
まだ自分で1人で伝えるのが難しいときやどんな言葉を選んでお友達に伝えたらいいのかが難しい子は大人が側に付き添い、伝え合う様子を見守ったり、伝えた言葉の意味をわかりやすく代弁して相手に伝えてあげています。
まだまだ言葉のお勉強中なので沢山の時間をかけて、ふわふわ言葉で
相手に伝えられるように伝えていきたいと思います♪

自分で身支度ができるようになる！

朝の身支度では、自分でコップやオムツを入れるなど、積極的に自分の事を自分でしようとする姿が見られています！
お迎えの時にも自分でやろうとする姿があり、自分で着替えた洋服をリュックサックにしまう、園帽子をロッカーにしまう、靴下を自分で履く姿が見られています。
時間がかかってしまうから先に大人がやってしまおう…としているといつまでも
【自分でやる】という行動から遠ざかってしまいます。
お迎えの時なども先にお迎えに行き、お部屋で一緒に身支度をするだけでも
【自分で出来た】という自立心に変わってきます。【やってもらう】から【自分でやる・やりたい】の気持ちを引き出すにはまずは大人と一緒になんでも経験をしてみることが大事になってきます。お迎えの時にぜひ一緒に身支度をしてみてください♪